

人材派遣会社で初参入

日輪、防衛省と取引

戦闘機など 部品納入 来月子会社を設立

人材派遣業の日輪(本社刈谷市昭和町、中山伊知郎社長、電話0566・63・1710)は、防衛省向け特殊装備品の納入事業に参入する。昨年夏に入札参加資格を取得。戦闘機などの部品を取り扱う米国の商社との提携も決まった。4月に同事業を手掛ける100%子会社を設立し、2014年度から入札に参加する。同事業の売り上げで、15年3月期は7億円、5年後には20億円をめざす。

(刈谷・片桐芳樹)



中山伊知郎社長

人材派遣会社で同事業「防衛省との取引により社名は「日輪インター」業に参入するのは初めり、会社の信用力とイナショナル」。本社は、戦闘機などの部品メーカーの向上につなげたい」としている。納入して、防衛省に納入する。中山社長は「防衛省への納入事業



日輪の本社

は2年前から準備を進めてきた。新設する子会社は本社の特機事業部を独立する形で立ち上げる。

る子会社、ニッシンの2階に置く。防衛省への納入業務の経験者はじめ、航空機部品メーカー出身者ら7人体制でスタートする。

提携が決まった米国の商社は、カリフォルニアに拠点を持ち、現地にある多数の部品メーカーとの独占販売権を持つ。

日輪は、自動車、工作機械、航空機関連など製造業を中心に人材派遣業務を展開。グループ企業合わせ、約1400人を派遣している。